

第9回奈良県国際芸術家村構想等検討委員会概要

日 時：平成30年9月6日（木） 13：00～14：30

場 所：東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館 4階 408会議室

参集者：（委 員）佐藤委員長、絹谷副委員長、大沼委員、松浦委員

（天理市）並河市長

（ 県 ）荒井知事

概 要：当委員会において、運営体制等全ての議題を了承。

各委員の主なコメント等は以下のとおり。

○各委員の主なコメント

- ・ 運営体制とコンテンツは引き続きしっかり検討することが重要。
- ・ 運営については、全国の博物館、美術館で苦勞している。持続性の観点からある程度自立した運営ができるよう工夫する必要がある。
- ・ 運営について、文化芸術関連の施設では採算をとることは厳しい現状もあるので、行政が支える覚悟も必要である。
- ・ 施設全体をマネジメントできる人材をなるべく早く選ぶことが必要。
- ・ 文化財修復を土台にすることは大切である。修復技術などの無形文化遺産の保護の大切さを（仮称）国際芸術家村で世界に発信してほしい。
- ・ 日本の文化芸術の原点を自分の目で見るとは重要である。学生が（仮称）国際芸術家村を訪れ、奈良で学び得たものをもって海外の

文化芸術を学びに行くという展開も考えられる。

- ・ 地域交流について、(仮称)国際芸術家村から県内全体に広がりを持たせて、来訪者が県南部にも訪れるような展開を期待したい。
- ・ 名称検討にあたっては、コンパクトでわかりやすいものになると良い。わかりやすさという視点でロゴマークをつくる方法もある。

○その他

- ・ 次回の検討委員会は2月頃に開催し、県の取り組み状況などを説明予定。

以 上